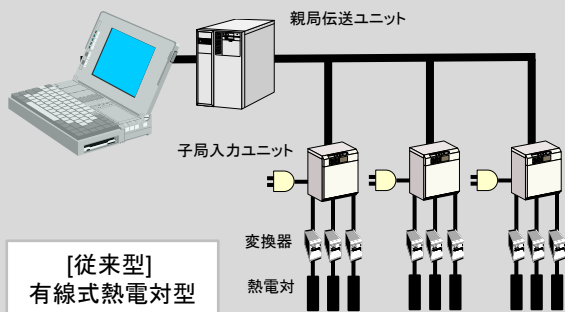
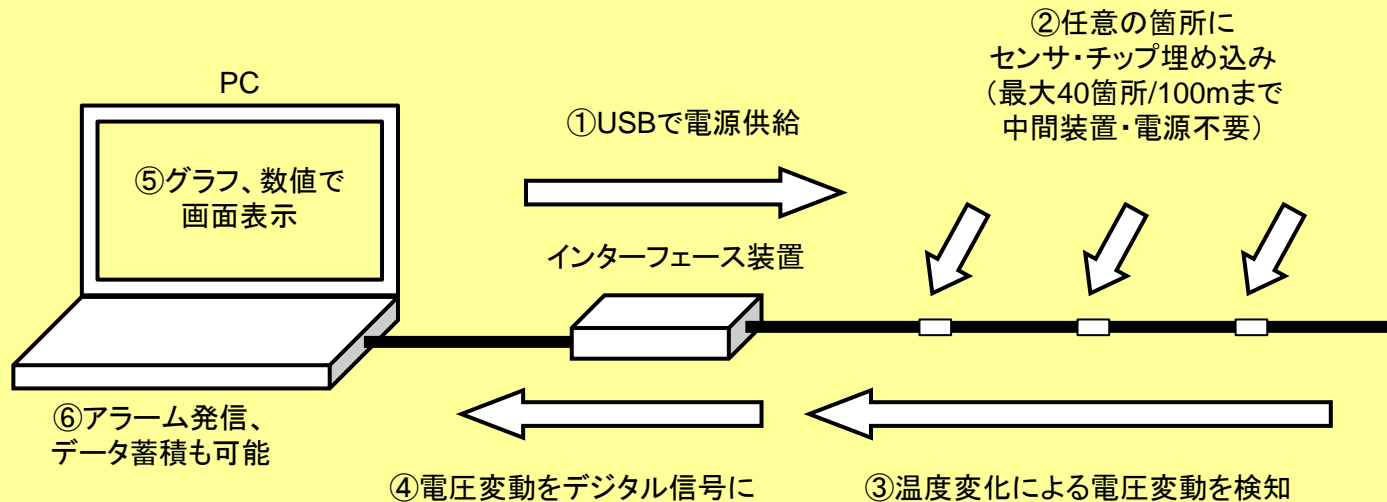


ケーブル一体型多点温度センサ

原理と優位性



従来の多数の温度センサを無線で接続する方式、複数の熱電対を変換器、伝送装置を介してネットワーク化する方式などは、設置・電源工事の複雑さ、複数個必要となる無線子機、熱電対変換器や伝送装置によるコスト増、などの問題がありました。

三陽電工の「ケーブル一体型多点温度センサ」は基本ソフトウェアをインストールしたPCにインターフェース装置をUSB接続し、測定箇所にセンサ内蔵ケーブルを敷設するだけで使用可能。他方式のような無線機器や伝送装置、中間部への電源の供給などは一切不要です。無線式、熱電対式に比べ大幅なコストダウンも実現しました。

アプリケーション例



農作物の温度管理



食品ケース温度の一元管理



倉庫内・輸送時の温度管理



自動車内での座席別温度・空調管理



製造装置の温度一元管理



食品・化学工場の状態監視



受変電設備異常検知



サーバールーム温度監視

農業、畜産業から食品産業、物流、工業やIT産業まで、導入の可能性は無限大。全く新しいセンサ形状が、生産効率はもちろん安全・安心や品質の向上も実現します。

標準仕様

「ケーブル一体型多点温度センサ」

- ・ケーブル外径: ≤ 5 mm
- ・実装センサ数: 1~40ポイント
 - ・敷設距離: ≤ 300 m
- ・測定温度範囲: $-20^{\circ}\text{C} \sim +105^{\circ}\text{C}$
- ・モニタ機能: リアルタイム/ロギング可能
- ・アラーム機能: 高温/低温異常値設定可能
- ・無線伝送機能: Wi-Fi、Bluetooth、携帯電話他



お問い合わせ

松陽電工 株式会社

本社 〒115-0051 東京都北区浮間3-5-27

TEL : 03-5916-1121 FAX : 03-5916-1123